

支え合うきよせ委員会 第1回勉強会アンケート

I 参加者内訳

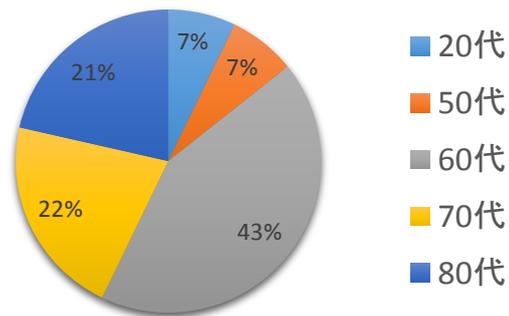
勉強会出席者	14名(欠席3名)
講師	2名
協議体委員	7名
行政職員	2名
地域包括職員	1名
実習生	2名
計	28名

II 勉強会出席者情報

年齢構成

20代	1名
50代	1名
60代	6名
70代	3名
80代	3名

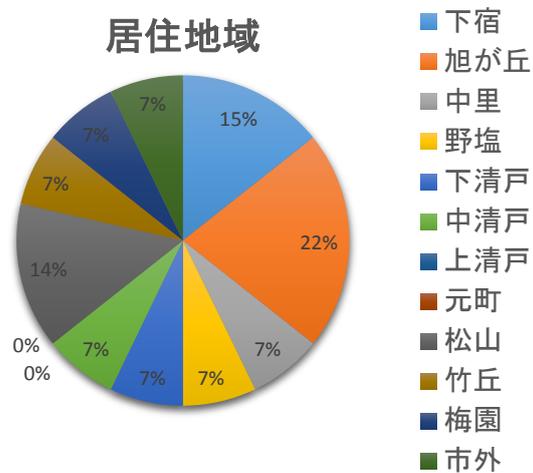
年齢構成



居住地域

下宿	2名
旭が丘	3名
中里	1名
野塩	1名
下清戸	1名
中清戸	1名
上清戸	0名
元町	0名
松山	2名
竹丘	1名
梅園	1名
市外	1名

居住地域



III アンケート集計結果

アンケート回収数	12
アンケート回収率	86%

1. 参加された感想をお聞かせください。

よかった	11
よくなかった	0
どちらともいえない	1

2. 勉強会の内容は理解できましたか？

理解できた	12
理解できなかった	0
どちらともいえない	0

3. 新たな学びや気づきはありましたか？

あった	11
なかった	0
どちらともいえない	1

4. 勉強会の日時について、希望があれば教えてください。

- ・平日午前中が良い。
- ・引続き足りない助け合いについて学習したいと思います。
- ・実施日は三週間前までに教えてください。(他のボランティアと重ならないために)
- ・介護の仕事をしている為水曜日だと出席出来ます。
- ・土日以外はOKです。
- ・年に4回位機械があればと思っています。
- ・土、日の午後。
- ・平日の午前中の方が、ありがたいです。午後から有効に時間を使いたいからです。14～16だと(いい時間を持って

5. 今後学んでみたい内容があれば教えてください。

- ・人の和を作るための方法を知りたい。(具体例を交えた内容を直接人の声で聞きたい)
- ・実践例をもっと具体的に教えてください。
- ・高齢者のコミュニティ。
- ・清瀬市においては高齢者や障害者が他市と比べると特に多いように思う。実際のところ財源はどう減っているか。
- ・地域の助け合い活動の個人で出来るノウハウや地域支援のノウハウ。被災地ボランティアについての活動に対する

6. 本日の勉強会に関する感想など、ご自由にご記入ください。

- ・さわやか財団の先生(女性)の声が小さく聞き取りにくかったです。広くない部屋でしたが、マイクを使って欲しかった
- ・①支え合う会の活動の具体的なものが見えてくるとよい。②具体的活動の仲間が集まるようになるといい。早く上記状態まで行くようスケジュール化を望む。
- ・20代から80代まで多様な年代の方々が集まったの勉強会なので今後の展開が楽しみです。
- ・もう少し大きな声で話してください。講師の方に、係の方にありがとうございました。
- ・助け合い活動事業に行政が熱心に対応して行かれる事を強く祈りました。ふれあいの居場所も自宅を開放しお友達
- ・いろいろな活動されている方が多くてビックリしました。横のつながりがあまりないということで、今後協力しあうように
なつて欲しいと思う。私はまだどうしたらよいかわからないので、私のような者を活用できる取り組みを立ち上げ
- ・旧清東高校、現コミュニティプラザ活用。市営リゾートマンションホテル(民泊)。ひまわりまつりの活用(イルミネーション
ンライトアップ)、運動場のパターゴルフ、託児所等々。当然、高齢者に活動してもらおう。体を動かす目的で
- ・第2回目の勉強会にも参加したいですね。今日は、ためになりました。ありがとうございます。